

「学校教育目標」と「令和4年度重点目標」に向けて

豊かな人間性を備えた社会人の育成

豊かな人間性

- ・自分を理解し、大切にできる態度の育成
- ・個性や多様性を認め合い、他者を尊重する態度の育成

健康・体力

- ・基本的生活習慣の確立
- ・基礎体力の向上
- ・自己管理能力の育成

資質・能力の育成

何ができるようになるか

○学校教育の基本

意欲的に「学びに向かう力」
生きるために必要な「知識・技能」
場に応じた適切な「思考力・判断力・表現力」

何が身に付いたか

○学習評価を通じた学習指導の改善

主体的に学習に取り組む態度
社会人としての教養と規範意識
課題解決能力、及びコミュニケーションスキル

生徒の実態

- ・自己肯定感が低い
- ・人間関係作りが苦手
- ・学び直しに意欲的な生徒も多い

生徒の発達をどのように支援するか

○配慮を必要とする生徒への指導

- ・年次・分掌の枠を超えた「チーム荻崎」として外部連携及び支援体制の整備強化
- ・多様な生徒のニーズに応えるための教育システムの工夫

目指す生徒の姿

- ・自己肯定感をもち、自信をもって行動できる
- ・良好な人間関係を築くことができる
- ・将来について自分で決定し、それに向かって努力することができる

何を学ぶか

○教育課程の編成

- ・高校生として最低限身につけるべき基礎学力
- ・人間関係の築き方、社会参画のしかた等の社会性

どのように学ぶか

○教育課程の実施

- ・少人数、習熟度別学習、スモールステップの授業
- ・学校設定科目や道徳の授業、HR活動、学校行事等におけるコミュニケーション活動を通しての学び

実施するために何が必要か

○指導体制の充実、家庭・地域との連携・協働

- ・主体的・対話的で深い学びを目指した授業改善
- ・校外のコミュニティや組織と協働する学習の推進（体験学習、実習、外部講師の活用等）
- ・探究活動による学びの深化
- ・ICT機器の活用
- ・個別の支援計画の引継ぎを含めた校内教育相談体制の充実
- ・職員研修（カウンセリングマインド）の実施
- ・外部機関（特別支援学校、大学、児童相談所等）との連携強化
- ・服装容儀や時間を守る等自律的な生活への指導充実

安心・安全を守る

- ・健康・安全教育の実施（講話や通学路のハザードマップ活用、災害の種類に応じた個人のタイムラインの作成）
- ・人権教育の充実（思いやりのある人間関係の構築、いじめのない環境づくり、スマホ利用に関するルールの徹底）

開かれた学校づくり

- ・学校公開やHP等を利用した積極的な情報発信
- ・社会人講師の活用と社会人聴講生の受け入れ
- ・学校評議員による学校評価、保護者アンケートの実施
- ・自治体ボランティア参加等、地域との連携推進